授業科目名・形態	保健統計学　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	三浦　雅史	実務経験の有無	有	開講期	3年前期
科目ナンバリング	N3-3013pmht				

【授業の主題】

この授業では、基礎的な保健統計について確認し、種々の保健指標や厚生労働統計資料の見方や考え方、実務において必要な統計手法を学びます。保健統計学は医学・看護学分野での研究や地域保健活動などにおいて有効性の判断や、保健政策や健康プログラムの効果の評価に必須の知識になっています。

【到達目標】

様々な医療データや資料から正しく情報を読み取り分析・考察できること。調査の計画から実施・分析・評価の方法を理解できること。よく使用される保健統計学解析方法について活用できること。の3点を到達目標とします。

【授業計画・内容】

第 1 回　統計学の基礎	～ 記述統計学、推計統計学について ～
第 2 回　記述（基本）統計学の確認	～ 基本統計量、ヒストグラムについて　～
第 3 回　データ（サンプル）の分布	～ 正規分布及び代表的な分布について　～
第 4 回　変数と測定尺度	～ 質的・量的データと 4 つの尺度 ～
第 5 回　2 つのサンプル（標本）比較	～ クロス集計、散布図（相関図）　～
第 6 回　推計統計学の確認	～ 仮説検定：帰無仮説と検定統計量 ～
第 7 回　代表的な統計手法 1	～ 質的データ：カイ二乗検定　～
第 8 回　代表的な統計手法 2	～ 2 群間の差の検定 ～
第 9 回　代表的な統計手法 3	～ 相関係数、回帰分析 ～
第 10 回　代表的な統計手法 4	～ エクセルを用いた演習：基本統計量、ヒストグラム ～
第 11 回　代表的な統計手法 5	～ エクセルを用いた演習：推計統計学 ～
第 12 回　保健指標の見方 1	～統計データから見る我が国の状況～
第 13 回　保健指標の見方 2	～統計データから見る我が国の状況～
第 14 回　保健指標の見方 3	～統計データから見る我が国の状況～
第 15 回　保健指標の見方 4	～統計データから見る我が国の状況～

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行いますが、所々で演習を取り入れます。
演習において理解度を確認しながら、双方向性のある授業を心がけます。
演習での理解度に応じて内容レベル(難易度)を若干変更する場合があります。

【事前・事後学習】

レポート作成、課題学習、試験対策等を含めトータル 60 時間程度の自主学習を行うこと。

【主な関連する科目】

「統計学」「疫学」「公衆衛生学」

【教科書等】

看護師のための統計学、共立出版 ISBN978-4-320-11093-9 C3041
その他講義資料を配布します。

【参考文献】

国民衛生の動向　　厚生労働統計協会

【成績評価方法】

筆記試験 50%、演習への取り組み 50%により総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

保健師等がよく使用する統計手法を中心に、実践的な保健統計解析知識と解析技術の習得を目指します。

【学生へのメッセージ】

授業中に演習を課します。ノート PC を授業の際にお持ちください。
履修にあたり、関連する既習科目の内容を理解していることが必要です。